

令和6年2月
秩父市教育委員会 定例会 議事録

開 会 : 令和6年2月27日(火) 午後2時00分
閉 会 : 令和6年2月27日(火) 午後3時14分
会 議 場 : 本庁舎3階庁議室

出席委員 : 1番委員 山中 直子
2番委員 大島 隆芳
3番委員 浅海 純一
4番委員 萩原 重範

出席者 : 教育長 前野 浩二
事務局長 笠原 義浩
事務局次長兼学校指導監 板倉 邦弘
事務局次長兼文化財保護課長 堀 宏行
教育総務課長 杉田 泰三
学校教育課長 磯田 欣央
保健給食課長 井上 夏美
教育研究所長 飛川 成正
市民スポーツ課主事補 中田 裕也

書 記 : 教育総務課主幹 大池 伸吾

1 開会宣言

教 育 長 : 令和6年2月教育委員会定例会の開会を宣言する。

2 署名委員の指名

教 育 長 : 本会議の議事録署名委員として、1番委員及び3番委員を指名する。

3 会議の公開

教 育 長 : 本会議は、公開とすることでよいか。
(「異議なし」の声あり)
異議なしと認め、公開とする。

4 前回会議の議事録の承認

令和6年1月23日に開会された1月秩父市教育委員会定例会議事録の朗読を事務局が行い、出席者の異議なく承認された。

5 報告事項

(1) 教育長及び各委員からの報告事項

教 育 長 : 2点、報告する。

1点目、道徳教育推進モデル校として、埼玉県教委、秩父市教委から2年間委嘱している荒川中学校の中間発表を1月30日に行った。

1年生の道徳の授業公開と、これまでの研究の発表、そして、研究協議が行われた。道徳の授業公開は、初任者であったが、落ち着いて、堂々とした態度で、生徒との温かい人間関係の下に授業が展開されていた。考え、議論する道徳の推進に貢献できたものと考えている。授業は、「そこにいるだけでいい」という教材で、「生まれることの意味」生命の尊さについて考える授業であった。死産を目の当たりにした助産師の心の中、命のあることの素晴らしさ、命のない赤ん坊に母乳をあげようとする母親の姿などについて、生徒は一生懸命考えていた。ICTの活用としては、1人1台端末と先生の知り合いの助産師の方へのインタビューと中学生へ向けたメッセージをモニターで写すなど、工夫された良い授業であった。

2点目、21校の校長人事評価に係る最終面談を行い、それぞれの校長から目標設定に向けた達成状況の報告を受けた。

教職員の働き方改革が求められる中、勤務時間外在校等時間が令和6年度末には、月45時間、年間360時間を目標としているが、今年

度の方策目標に掲げていた1校が、3月末を見据えて達成できそうであるという報告を受けた。その学校は、秩父第一小学校であるが、様々な工夫を凝らし、教職員も働きやすいという評価をしているようで、大変素晴らしい取組をしていると感じた。

他の学校でも来年度には目標達成できるよう指導してまいりたい。

- 1 番 委 員 : 2月5日、日中から雪が降り始め、久しぶりの積雪となった。予想以上に積もった雪によって、翌日は休校や登校を遅らせるなどの対応を取った学校も多かったようだ。ここ数年は暖冬の影響もありあまり積雪もなかったのも、慣れない道で子どもたちの通学を心配に思っていた。だが、子どもたちの通学路を確保するために、学校の先生方や地域の方々が、真っ先に歩道や校庭の雪かきをしていただいたと聞き、感謝の気持ちでいっぱいになった。改めて地域の方や先生方の学校や子どもたちに対する思いを感じ、頭が下がる思いがした。

2点、報告する。

1点目、2月14日に秩父地区教育委員会連合会第3回役員会がオンラインで行われた。

議題は、秩父地区教育委員会連合会表彰規程の改正について、令和5年度退任会員、退職教職員、永年勤続職員等の表彰について、研究指定委嘱校募集について、令和6年度秩父地区教育委員会連合会第1回役員会及び総会の開催日について、であった。各議題とも役員の方々に御協力いただき、可決承認いただいたことを報告する。

また、久しぶりのオンライン会議であったが、事務局の事前準備のおかげでスムーズに行えた。最近では、対面での会議も多くなってきた。対面での会議に勝るものはないと思うが、時にはオンラインで会議を行うことが、いざというときの備えにもなるので、今回オンライン会議で行えたことが良かったと思った。

2点目、学校のホームページより、各学校の学校だよりを拝見し、子どもたちの最近の様子や、私の感想を報告する。

3学期も残すところ1か月となった。多くの学校が今年度最後の授業参観や保護者会を行っているようであった。子どもたちの学校での様子を身近に参観して、この1年の子どもたちの成長を多くの保護者が感じたのではないかと思う。また、小学校・中学校ともに新一年生の1日入学が行われたり、小学校では、通学班の編成が行われていた。学年末で学習の総まとめをしながらも、来年度に向けての準備も進んでいると感じた。

また、中学校では公立高校の入試もあった。受験生は、これまで様々な選択や決断をし、目標に向かい、勉強に励んできたことと思う。保護者の方々も、受験生とともに考え、悩み、また一番近くで見守り、応援してきたことと思う。受験生の皆さんが、自分の思い描いた進路に進み、

新たなステージで活躍されることを心より祈っている。

2 番 委 員 : 仕事しながらラジオを聞いていたら、番組の中で今全国的にミツバチが減っているという話題が出た。アインシュタインが「ミツバチが減びると、4年後には人類が減びる」と言っていたようで、それを気にかけた横浜市の小学校の先生が、近くの養蜂所に行って子どもたちにミツバチの研究をさせたそうである。どうしてミツバチが減びると人が減びるのかというと、結局は受粉が自然にできなくなって食糧危機に遭うということがその理論で、ミツバチが減っている理由としては、農薬の使用や人間の住まいのビル化など、ミツバチの住む環境が脅かされていることが理由のようだ。自分の友達のイチゴ農家も、受粉を行うミツバチが一番の働き手だと言っていた。そのようなことを小学校の勉強として役立てるとするのは、非常に面白い取組だと思った。

1点、報告する。

2月9日、東京都の新橋カンファレンスセンターで開催された、令和5年度第6回市町村教育委員会研究協議会に参加してきた。

まず、基調講演として「初等中等教育施策の動向について」文科省の初等中等教育局企画課の堀野課長からお話をいただいた。

令和の日本型教育推進に向けた地方教育行政のあり方から始まり、教師を取り巻く環境整備、GIGA スクール構想の推進、不登校児童生徒への支援・いじめ対策、部活動の地域移行など、多岐にわたる内容を1時間30分の間に御説明いただいた。

印象に残ったのは、既に文科省で行っている能登の被災地へのスクールカウンセラー等の派遣について、それから、未成年者への性暴力を行った教員に対する対応についてである。これまで生徒以外の未成年者に対する性暴力は停職という場合もあったが、今後は免職、免許取消しで徹底することと、それを今データベース化しているということであった。免職ではなく停職で終わっている場合があることに少し驚いた。

その後休憩を挟み、分科会が行われた。

学校における働き方改革について、部活動のあり方について、いじめ対策・不登校支援についての3つのテーマのうち、それぞれ希望した研究分科会に参加して、グループディスカッションを行った。

自分は、いじめ・不登校対策の分科会に参加して、6つの自治体の教育委員の方々と主に不登校の児童に対して用意している取組などの意見交換をした。グループは6人であったが、うち5人が教員経験者で、さらにうち3人が教育長ということで、とても緊張した。皆さんが素晴らしい意識を持っており、私は力足らずであったが、非常に良い刺激を受けた。

京都の亀岡市では、フリースクールの授業料を一部負担していたり、島根県松江市では、オンライン授業を工夫して屋外、例えば松江城からオンライン配信して、先生方が被り物をしたりして、子どもたちが安心して楽しく参加できるような取組をしているということで、非常に勉強になった。

やり方はどうあれ、どこにもつながらない子どもをなくすというスタンスは、どの地域も同じであると感じた。また、対策・研究を急ぐあまり、子どもの気持ちが置いていかれないよう注視して進めることが大事だと感じた。

今回は、日本中の教育委員が集まり、地域ごとの解決案を伝える非常に有意義な協議会であったと思う。

3 番 委 員 : 2点、報告する。

1点目、2月に行われた市内小学校での授業参観に参加させていただいた。2月7日に花の木小学校の1・3・5年生、2月9日に影森小学校の3・4年生の、2校である。

この時季の授業参観については、子どもたちの1年間の授業の成果を発表するものということ。発表の形は、それぞれ異なっており、個人の発表、グループでの発表、テーマを理科に絞った内容の発表、総合学習の発表など、その学年の先生方が考えたり、学校の特色が出ている内容・発表であったと思う。

保護者の方も大勢参加されており、自分の子どもだけでなく、クラス全員の発表に真剣に耳を傾けていた。この時期の授業参観が、このような発表という形を取っているのは、保護者にとっては子どもの1年間の成長を実感できる良い機会ではないかと思う。昨今だと、自分の子どもの姿をスマホで写真を取りたいという保護者の方もいると思うが、みな静かに発表を聞いていた。その雰囲気を整えることに先生方は、かなり苦労されたのではないかと思った次第である。

児童の成長という点では、学年が上がるごとに発表内容がどんどんレベルアップしていることを実感した。1年生のクラスであると、自分自身の学習の成果として、縄跳びの種目を発表する児童がいた。そうすると、途中で引っ掛かってしまうのであるが、黙々と成功するまで続けているので、成功者した瞬間に参加していた保護者の方から大きな拍手が上がり、児童は達成感を実感していた。また、5年生では、2クラス全員が体育館に集合して、楽器のグループ発表会をやっていた。どのグループも色々な趣向を凝らしており、本当に5年生ならではの成長の様子が伺えた発表であったと思う。

小学校6年間というのは、子どもたちの成長に非常に大切な時期であると実感した。先生方の子どもたちに向える時間がもっともっと多くなってほしいと改めて感じた次第である。花の木小・影森小とも、学

習指導員、特別支援教育補助員、教員業務支援員という、3つのタイプの補助する方、支援する方が配置されている。両校の校長に聞くと、この方々に大変助けられていると話をしていた。しかしながら、校長から、まだまだ先生方には、本来業務をやっていただく時間が欲しいという声があったので、ぜひ事務局においては、さらなる働き方の改善・取組をお願いしたいと思っている。

2点目、今定例会の資料に同封されていた、秩父市子ども広報を拝見させていただいた。

この中に、市内小・中学校の1,675人の児童生徒を対象にした「将来の夢」というアンケート調査の結果が入っていた。これを見て、少し驚いたのは、**YouTuber**が中学2年生を除く、小学校のどの学年でも上位5位に入っていたことである。回答した子どもたちは、どんな理由でこの職業に憧れを持っているのか、少し知りたいという気持ちになった。夢を持つことは大切である。今回、全学年でランキングされていたサッカー選手のように、**YouTuber**にも大きな憧れを持っていると思われる。一方で、中学2年生については、現実味が出てきて、**YouTuber**はランク外となっていた。

それから別の視点で、身近な職業として、多くの学生でランキングされているのが、美容師とパティシエを含むケーキ屋で、3学年でランキングされていた。その中で身近な職業として、以前は上位に入っていた学校の先生であるが、小学2年生が4位に入っているだけで、それ以外はランク外であった。このことから、先生という職業は、やはり憧れの職業として再び認識していただきたいと思った次第である。そのためには、先生が子どもたちに向き合える時間をもっともっと確保していただきたいと感じた。

それから、番外編に紹介されていたものが、小学校4年生の児童が書いた大工さんであった。番外編には理由も添えられていて、大工になってお祭りに出たい、という理由であった。お祭りの責任者・中心人物は大工さんということはこの児童はよく知っており、自分も将来その役割を担う、伝統文化を継承していこうという、そういう気持ちがしっかりと備わっているということに、大きな喜びを感じた。

この番外編は、編集者がピックアップするのであるが、この児童をピックアップしたその意図が、自分はよくわかる気がした。

4 番 委 員 : 3点、報告する。

1点目、2月3日に花の木小学校、2月9日に荒川西小学校の授業参観に行ってきた。

花の木小学校では、ちょうど体育館でタイムカプセルの封函式が行われていた。今後何年か先に開けるということであるが、今の自分たちの思いを封函するというので、そのセレモニーの様子を見学した。そ

の後、校長の案内で2年生、4年生、6年生のクラスの授業を参観した。どのクラスも児童数がある程度そろっていて、活気があった。また、教室内はもちろん、廊下に子どもたちの作品や掲示物がたくさん貼られていた。これは日頃から先生方のきめ細かい指導が行われている、一生懸命子どもたちのために心を砕いて色々やってもらっていることが、掲示物から伺えた。

花の木小学校のホームページを見ると、絶えず更新がされており、それだけ発信できる教育活動が行われているということである。そこで、働き方改革によって、残業時間を減らしていくことで、実際の先生方の仕事の質が落ちていかないか心配である。できるだけ効率良く色々なことを考えていくことは理解できるが、先生方のやる気を削がないように残業時間の目標達成・月45時間というのも、少し考えていただければ良いのかなど。やる気満々の先生も多くいるように伺ったので、そのようなところがこれからの課題であると思う。

また、荒川西小学校では、校長先生の案内で全クラスを参観して懇談もできたが、参観の中で非常に印象的だったのは、体育館で行われた低学年合同の体育の授業であった。

1、2年生、それに保護者が参加して、一緒にドッジボールをやっており、コート内には子どもたちが入っていて、外から攻撃するのが保護者の方々であった。子どもたちが少ない分を保護者がフォローして、一緒になって楽しんでた。こういう姿を見て、とても心惹かれる思いがした。円滑な学校教育活動のために、保護者の支援・協力は欠かすことができないもの、そういうことを改めて感じたところである。

今までは、保護者の参加や協力・支援ということになると、学校行事が主であったが、場合によっては、学校規模や授業内容にもよるが、体育以外の授業でも、1日支援員・1時間支援員のような形で保護者が先生方をフォローすることができないか。当然、たまたま保護者がいたから授業に参加してくださいということではなく、しっかりと教育計画を立てて、保護者にも良い意味で授業に参加していただくことで、また新しい授業の形が生まれるのではないか。

本当に少人数で苦勞している学校にとって、その辺の規制などを緩めて考えられないものかと感じながら帰ってきた。柔軟な授業参加への取組がうまくできないか、そのようなことを考えさせられた思いである。

2点目、最近の新聞等を見ると、児童生徒数の減少に伴う県内の小中学校の統合への動きがだいぶ出てきている。

特に、2月17日の埼玉新聞には、行田市が市内の公立小中学校20校を2034年度までに義務教育学校3校に統合・再編すると発表したことが書かれていた。ちょうど秩父市と同じような学校数であるが、

これを3校に統合するというずいぶん思い切った大胆な計画と思うが、これを10年間で実施するという発表であった。昨年の行田市の小中学校の児童生徒数は5,145人で、10年後には3,100人まで減少すると予想される中で、小規模校は部活動などに制約が生じ、クラス替えができずに人間関係が固定化しやすいことから、市は新たな学校を1学年3学級以上とする予定で進めているようである。

また、2月21日には毛呂山町の教育委員会が、町内の小学校4校、中学校2校を2029年度から小中一貫校2校に統合すると発表した。日高市は今年度4月から、もう実際に小中学校教育を一貫して行う施設一体型の義務教育学校を設置している。このように、5年後10年後、とにかく子どもたちの数が減少して大変な状況になる、将来を見据えて早く手を打とうということで、県内の市町村でも色々な取組が始まっているようである。

教育委員会の方でもすでに検討はしていると思うが、こうした動きをできるだけ加速して、これから5年後10年後どうしていくかということを検討する場を作って、ぜひ真剣に協議を進めていただきたいと思う。

3点目、大谷選手寄贈のグローブについてである。

各小学校で、どのような周知・紹介をして、児童にグローブに触れさせたり、実際にキャッチボールなどに使わせているか、状況はどうであろうか。グローブが飾られているだけで、子どもたちの手元に届いていない、というニュースも話題となった。

特に、6年生の卒業までもう1か月を切っている。ぜひ卒業までには、大谷グローブに触れ、みんなでキャッチボールをして、良い思い出ができるようにしてほしい。今の6年生も、コロナ禍でつらい思い出が多くある中で、ぜひ最後に楽しい思い出を作っていたいただければありがたいと思っている。

(2) 事務局からの報告事項

事務局長：1点、報告する。

秩父市議会3月定例会についてである。

秩父市議会3月定例会は、2月20日に開会し、3月13日までの23日間の会期で開催される。会期中の日程は、昨日、2月26日が議案に対する質疑、2月29日が文教福祉委員会、3月4日、5日、6日の3日間が市政に対する一般質問となる。なお、一般質問には15人の議員が登壇する予定で、そのうち、8人の議員から教育委員会への質問通告があった。現在、答弁書の作成をしているところで、内容については来月の定例会にて報告させていただく。

今議会に付議された議案は、開会日初日即決の条例の一部改正が1

件、専決処分が2件、指定管理者の指定期間の変更が1件、工事請負変更契約の締結が1件、条例の一部改正が10件、条例の廃止が1件、補正予算が8件、新年度当初予算が8件の、計32件である。このうち、教育委員会関係では、先月の教育委員会定例会で議決をいただいた久那幼稚園閉園に伴う「秩父市立幼稚園条例を廃止する条例」と、補助執行で市民スポーツ課所管の影森グラウンドの使用料変更に伴う「秩父市体育施設条例の一部を改正する条例」を上程している。

次に、補正予算の主なものは、南小学校及び大田中学校の大規模改造工事については、令和6年度当初予算計上を予定していたところ、今年度の国の補正予算で補助金が採択されたことから、当初予算ではなく今年度の補正予算に前倒しで計上し、新年度に繰り越して実施する予定である。予算額は、工事費のほか委託料など関連経費を含め、南小が5億9,655万6千円、大田中が2億7,500万7千円である。その他、学校給食関連に役立ててほしいと900万円の寄付があり歳入に計上している。

次に、新年度予算の主なものでは、

- ・原谷小学校校舎・体育館等大規模改造工事に係る実施設計委託料(3,000万円)
- ・英語指導助手派遣委託料(3,630万2千円)
- ・情報通信技術支援業務委託料(1,316万7千円)
- ・デジタル教科書使用料(900万円)
- ・給食費の公会計化に伴う賄材料費(2億7,011万7千円)
- ・学校給食調理・洗浄・配膳業務委託料(1億5,879万6千円)
- ・入学準備品購入補助金(1,860万円)
- ・緑の少年団活動助成金(210万円)
- ・萩平歌舞伎舞台茅葺屋根葺き替え工事(869万円)
- ・秩父祭笠鉾屋台保存工事(1,487万4千円)
- ・重要文化財「内田家住宅」便益施設建設工事(600万円)

などが新年度特筆すべき予算となる。その他、各小中学校、幼稚園で、例年、必要となる経費を予算計上している。

学校指導監：2点、報告する。

1点目、秩父市教育委員会・埼玉県教育局北部教育事務所の教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問についてである。

今年度は5月19日から始まり、今月2月6日まで市内全ての小・中学校と久那幼稚園の訪問を実施した。指導主事からは、教員の指導力の向上について、学校指導監と北部教育事務所主席指導主事からは、学校経営全般について指導助言を行った。

2点目、令和6年度埼玉県公立高等学校入学者選抜についてである。先週2月21日に学力検査が実施され、翌日2月22日に実技・面接が

実施された。入学許可候補者の発表は、3月1日に行われる。

また、学力検査当日インフルエンザ等により受検ができなかった生徒については、3月4日に追検査、3月6日が結果発表という予定になっており、7名の生徒が該当し受検することとなっている。

文化財保護課長 : 1点、報告する。

3月17日、9時30分から市民会館大ホールにて、令和5年度「秩父市民俗芸能大会」と「秩父市子ども伝統芸能伝道師」称号授与式を開催する。

午前の部では、幼児や児童・生徒の日頃の伝統芸能の練習の成果を披露していただく。演目は、もとまちこども太鼓教室による「秩父屋台囃子」、久那小学校による「久那の獅子舞」、影森中学校による「浦山の獅子舞」、吉田中学校による「貴布祢神社神楽」の4つとなっている。その後、秩父市の伝統芸能の継承に努力した児童・生徒に対する秩父市子ども伝統芸能伝道師の称号授与式を開催する。本年度は小学生14人・中学生45人の計59人に称号を授与する。終了は12時10分を予定している。

本日、委員の皆様以案内文書を配布したので、ぜひご臨席いただくようお願いする。

なお、午後の部では、花の木小学校と秩父歌舞伎正和会による歌舞伎公演が行われ、終了は14時50分を予定している。

教育総務課長 : 1点、報告する。

スクールバス運行管理業務についてである。

昨年12月の定例会でも報告させていただいたが、尾田蒔小学校、吉田小学校、荒川西小学校、荒川中学校における、来年度のスクールバス運行については、十分な安全管理を行い、確実に業務を遂行できる業者を選定する必要があると考え、公募型プロポーザル方式での業者募集を実施した。その結果、尾田蒔小学校、吉田小学校については、現在の委託業者1社からの応募があり、契約候補事業者に決定した。

しかしながら、荒川西小学校、荒川中学校については、業者からの応募が全く無かったため、やむを得ず、プロポーザル方式での業者募集を中止したところである。そこで、来年度の荒川西小学校、荒川中学校のスクールバス運行については、市職員が送迎を行う方向で、現在、最終調整を進めている。また、職員の休暇取得の際や、土日の部活動などの対応は、タクシーによる送迎を行うよう並行して調整を行っている。

なお、令和7年度以降の業者委託の可能性についても、引き続き関係各所と協議を重ねていきたいと考えている。

学校教育課長 : 2点、報告する。

1点目、学校及び学童保育室関係の会計年度任用職員の人事評価を行い、2月中に開示する。現在、来年度の会計年度任用職員の体制整備

に努めており、新年度予算が可決した場合には、令和5年度と同程度（全164人。うち、教員業務支援員、学習指導員、特別支援教育補助員など学校関係職員が78人）の人数規模の会計年度任用職員を配置し、学校運営の補助並びに学童運営を行っていく予定である。おかげ様で予定数以上の応募があり、4月1日から人員を配置できる計画である。

2点目、熊よけ鈴とホイッスルの配布についてである。

今年度は、熊の目撃情報が大変多く市内の広範囲で発生していたことから、2学期の開始にあわせて、市内の小中学校の全児童・生徒へ緊急に熊よけ鈴とホイッスルを配布した。地球温暖化の影響で山中での果樹不足などにより、来年度以降も熊の目撃情報が多くなることが予想される。新小学校1年生や転校生に対し、4月中に配布を行い、来年度も1年を通して熊よけ鈴とホイッスルを着用するよう対応を学校に依頼したいと考えている。

保健給食課長 : 1点、報告する。

2月中における児童生徒及び教職員の感染症感染状況についてである。

2月26日現在、新型コロナウイルス感染症の感染者については、小学生48人、中学生42人、教職員11人と感染者が増加している。学級閉鎖も中学校で1学級発生している。

また、インフルエンザについては、小学生は感染者161人、学級閉鎖5学級、学年閉鎖6学年、中学生は感染者54人、学級閉鎖1学級、学年閉鎖2学年、教職員は感染者4人となっており、相変わらず高止まりの状況が続いている。

その他、一部の学校で、感染症胃腸炎が発生しているとの報告もあるので、手洗い・うがいの徹底等、各学校とともに感染拡大防止に努めていきたい。

教育研究所長 : 1点、報告する。

2月8日、13日、14日に学力向上推進委員会第2回外国語部会、国語部会、算数・数学部会をそれぞれ開催した。インフルエンザ等の流行等もありオンラインによる開催となった。

内容としては、今年度1年間の班ごとの取組や本事業の成果・課題の共有をした後、協議を行った。3部会ともに、事前に共有する資料として指導案やICT活用事例集を作成し、提出していただいた。当日は、教科部会ごとに情報共有、協議についての形式を工夫して行われた。国語部会では、学力調査活用班、チチブ・チャレンジ活用班、ICT活用班をさらに5班に細分化し、協議を行った後に全体で共有を図った。外国語部会では、各班を校種でグループに分け協議を行った。算数・数学部会では校種別に3～4校で1グループを組み取組内容、成果・課題の情

報共有、協議を行い、その後、中学校区のグループに編成し直し、協議内容の共有や情報共有を行った。

学力向上推進委員会の各教科部会は、今年度初めての取組であったが、部会長を始め21校の先生方で構成される部会員の皆様の積極的な取組により充実したものとなった。次年度は、本事業がより良い取組として子どもたちの学力向上に寄与できるよう、更なるバージョンアップを図っていきたい。

(3) 補助執行に関わる報告事項

教 育 長 : 補助執行に関わる報告事項は、今回、特にない。

6 議案審議

教 育 長 : 議案第4号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

学校教育課長 : 議案第4号「秩父市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令について」の提案理由及び説明を述べる。

4 番 委 員 : 新設された第17条の9第2項にある、当該申請の内容を確認するための書類とは、どのようなものか。

学校教育課長 : 高齢者部分休業は、本人の健康状態、家族の介護、地域のボランティア活動従事などの際に申請することが想定されるので、それらの内容を示す書類が考えられる。あくまで必要があるときに提出を求めるものである。

教 育 長 : 他に質問または意見等がなければ、この議案を原案どおり可決することではいかか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第4号は、原案どおり可決した。

教 育 長 : 議案第5号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

教育研究所長 : 議案第5号「市立中学校の休日の部活動地域移行に向けた方針の諮問について」の提案理由及び説明を述べる。

4 番 委 員 : 答申を希望する時期が令和7年3月頃ということであるが、地域移行に向けた本格実施時期について、市はどのように考えているか。

教育研究所長 : 令和5・6・7年度を環境整備期間として地域移行に向けた環境整備を進めていく。今後示される予定の埼玉県の推進計画も考慮しながら、来年度中に市の方針を定め、周辺4町とも協力しながら、令和7年度末までに着実に準備を進めていきたいと考えている。

教 育 長 : 令和7年度末までに環境整備をして、8年度から準備ができたところから移行を始めていくということで、御理解いただきたい。

他に質問または意見等がなければ、この議案を原案どおり可決する

ことでいかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第5号は、原案どおり可決した。

教 育 長 : 議案第6号を議題とする。事務局に議案の説明を求める。

市民スポーツ課 : 議案第6号「秩父市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」の提案理由及び説明を述べる。

教 育 長 : 質問または意見等がなければ、この議案を原案どおり可決すること
でいかがか。

(「異議なし」という声あり)

異議なしと認め、議案第6号は、原案どおり可決した。

7 協議事項

(1) 後援等について

教 育 長 : 後援等について、説明を求める。

教育総務課長 : 別紙のとおり、7件の協議をお願いします。

教 育 長 : 質問がないようなので、ここで委員の皆様にお諮りするが、全ての
事業について、後援等を承認することはいかがか。

(「異議なし」という声あり)

それでは、今月の後援等について、ただいまのとおり決したので、
事務局には、今後の処理をお願いします。

(2) 3月教育委員会定例会の日程について

教 育 長 : 定例会の日程について、説明を求める。

教育総務課長 : 3月教育委員会定例会について、3月27日午後2時から本庁舎3
階庁議室において開催することを御提案させていただく。

(「異議なし」という声あり)

教 育 長 : それでは、3月教育委員会定例会については、3月27日午後2時
から、本庁舎3階庁議室にて開催する。

8 その他

各 委 員 : 特になし。

事 務 局 : 2点、事務連絡を申し上げる。

1点目、3月21日午後3時から、歴史文化伝承館5階第1会議室に
おいて、総合教育会議が開催されるので、出席いただくようお願いする。
後日議題が決定したら、通知でお知らせする。

2点目、教職員等辞令交付式を3月29日の午前11時から、教職員

就任式を4月1日の午後1時30分から、それぞれ開催する。詳細については、後日文書で案内するので、出席いただくようお願いする。

9 閉会

教 育 長 : 他に付議すべきことがなければ、本日の日程を全て終了する。
以上をもって、秩父市教育委員会2月定例会を閉会する。